13.10.11
6/13

争議起ルハ其ノ何處ニ在ルヤ要求ハ是ニ依リ左ニ示サントノ
心理カ深ク刻注セシ余ヲシテ結果ニ於テ得タル多少ノ影響
ハ何等不合理ニ非ス外ナラサル等ナルベシ
只今後争議中船舶係船ヲナス事ハ職ニ其ノ次第ナキ海員争
議ハ陸上争議ト其趣ヲ異ニシ居ル為メ四日迄ノ四箇月
限ヲ限リ要求セシモ不相互ニ了承解決セルモ其ノ係
船ノ止ムヲ得ス状態ニ陥リ収入ニ損シ為ニ多少影響シ係船ヲ
要求ニ了承セルニ非ラサルモ自然国民ノ生活ト共ニ其ノ当大
争議ノ状態ヲ見ルニ至リ其ノ先ニ平素各船員ノ職ヘ
意ヲ尽サンコトヲ結果トシテ其ノ責任ノ大半ハ船員側ニ在ル
ニシテ

十月五日
日本海員組合及不穏ノ形勢ニ至リシ件
日本郵船会社ト組合ニ於テ紛争出来セシモ前郵船側ニテ協会
理事ニ提出セシ要求ニ対シ海員組合郵船部ニ対シ
免角交渉ノ模様ニ有リテ不穏ノ動キ有リ会員カ某動
理事会ニ於テ協議ノ上郵船部ニ対シ之ヲ要求ト為シ
専属船員ニ対シ協会ニ於テ組合員タル稲木ト共ニ協
議シテ稲木ハ元海員組合郵船部会長ニ就任セシ
職員ニ対シ海員組合カ思想上ヨリ事実ト為シ得ル
動キ郵船部ニ於テ組合ニ対シ極秘裡ニ協動シ
不納共鳴者ハ会社側船員ノ行動ニ注意シ状況ヲ
更ニ之カ進展ト共ニ甲板部ノ独立ヲモ企図シ居ル模様
アリ